

市民ワークショップによる越谷市シティプロモーション アクションプランおよびブランドメッセージの検討経過

1.開催日時・会場

- 【第1回】 令和6年1月16日(火)、18:00～20:30 ・ 越谷市役所会議室
- 【第2回】 令和6年1月30日(火)、18:00～20:30 ・ 越谷市役所会議室
- 【第3回】 令和6年2月18日(日)、13:30～16:30 ・ 水辺のまちづくり館
- 【第4回】 令和6年2月24日(土)、13:30～16:30 ・ 越谷市役所会議室

2.参加者

子育て団体、市民活動団体、大学生、専門学生、事業者、市民クリエイターなど延べ124名

3.実施内容

講師:河井 孝仁 さん(東海大学教授)

アドバイザー:三寺 雅人 さん(クリエイティブ・ディレクター)

【第1回】

①本市の魅力などに関する共有

参加者を5つのグループに分け、ヒト、モノ、コト、トコロ、シゴト、ワザ、カコ、ミライ、クウキの9つのテーマについて魅力を抽出し、各グループメンバーと共有しました。

②ペルソナの設定

一般的な「ペルソナ」の要素である、年齢・性別・居住地などに、趣味・悩み(市の魅力で解決できること)・希望・大事にしていることを加え、人物像を細部まで設定しました。

【第2回】

③ペルソナのライフストーリーの作成

各グループが考えたペルソナをイメージしやすいよう、設定に合わせてイラストを描き、ペルソナが挫折しながら、本市の魅力に触れ、立ち直り、夢を実現するまでのライフストーリーを作成しました。

【第3回】

④ペルソナへの「お手紙」の作成

設定したペルソナの悩みに対して、地域の魅力や資源でどのように解決できるかを考え、「お手紙」を作成していただきました。

【第4回】

⑤ブランドメッセージの検討

第1回～第3回までの取り組みを踏まえ、本市の理想像や目指すべき姿、まちの特徴などから、ブランドメッセージを検討しました。

4.ワークショップで挙がった意見

<A グループ>

①本市の特徴

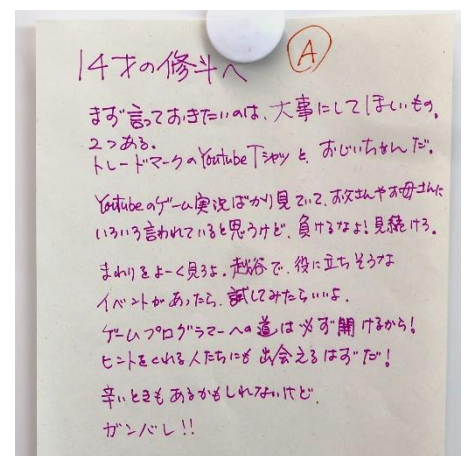
カコ コト	大洪水を経験し乗り越えた 蒲生地区コミ協参加 越谷技博 インスタ発信ボランティア参加
トコロ クウキ モノ シゴト	大学近くの公園滑り台が長くて楽しい コンプレックスが少ない 越谷ホシクサ通っている中学で増やしている コアキナイ塾講師体験 プロモーションプランニングにまだ伸びしろがある リモートワークをしている人が多い
ヒト ワザ ミライ	EXILE アツシの出身地 アーティストが意外に多い 幾多の水害をのち超えた経験を活かした治水対策が整備された町

②ペルソナの設定

③ペルソナのライフストーリーの作成

④ペルソナへの「お手紙」の作成

蒲生に住む 14 歳の男子中学生の権田修斗さんは YouTube やゲーム実況が趣味で、将来はゲームプログラマーになりたい夢がありますが、その趣味を家族に理解されない悩みを持っています。



(左:ペルソナの設定とライフストーリーの作成、右:ペルソナへの「お手紙」)

⑤ブランドメッセージ

『夢の応援団こしがや』

若い越谷人が自分の夢(希望)の職に就きたいと思うきっかけ探しとして地元のイベント(越谷技博)に参加し、たくさんの応援してくれる人と出会い「人とのつながり」を実感した。さらに地元の伝統的手工芸品などを取入れながらチャレンジを続け、自分の夢を実現することができたというストーリーから考えた。

<B グループ>

①本市の特徴

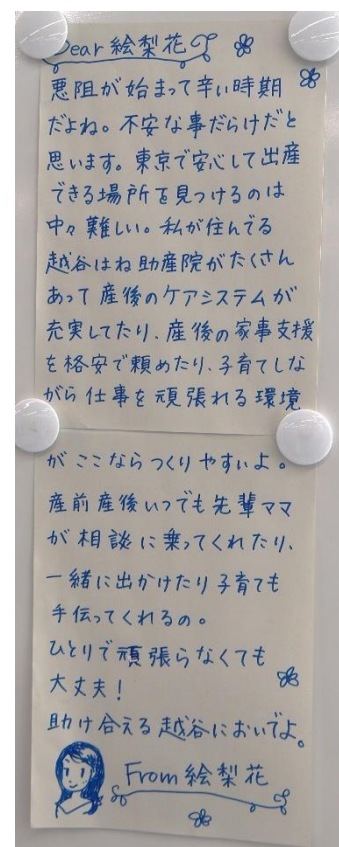
クウキ コト	植物の多様性がみられる森 笑顔になれるいちご狩り 有機無農薬野菜への取り組み
トコロ	広々とした芝生の上で家族で遊ぶもよし、テニスパールなどの運動も OK 県民健康福祉村にはベビールームあり アクセスのよい図書館 久伊豆神社 キャンベルタウン公園
カコ	子どもの生みやすさ、助産院の多さ、市立病院との連携 豊富な自然
シゴト	プラス保育、子どもサポートネットワーク 子育てサロン 家庭訪問支援
ミライ	オーガニック給食署名運動

②ペルソナの設定

③ペルソナのライフストーリーの作成

④ペルソナへの「お手紙」の作成

大手企業に勤める林絵梨花さんは、キャリアアップを目標に仕事に励んでいました。35歳の時に思いがけない妊娠を機に市内へ転入しますが、どのようにして仕事を続けながら安心して出産・子育てができるのか悩んでいます。



(左:ペルソナの設定とライフストーリーの作成、右:ペルソナへの「お手紙」)

⑤ブランドメッセージ

『育ち つながる 街 こしがや』

グループのメンバーが何らかの形で「子育て」の支援に関わっており、都心と比較すると、越谷市は子どもを育てるのに良い環境であることが分かった。様々な形で子育ての支援者が身近にあり、子育てを通して「人がつながり」、人が育っていく循環が越谷市にあるという想いを込めた。

<C グループ>

①本市の特徴

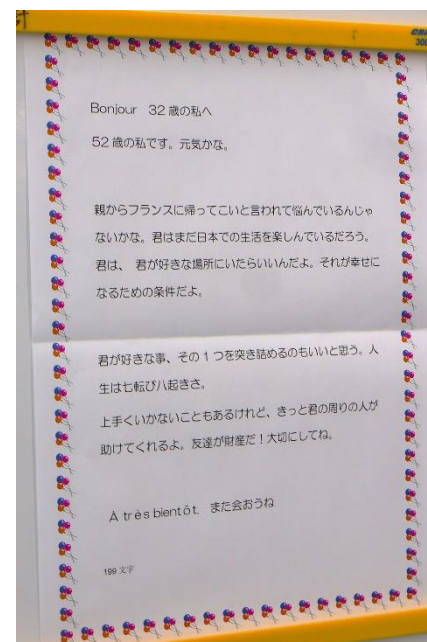
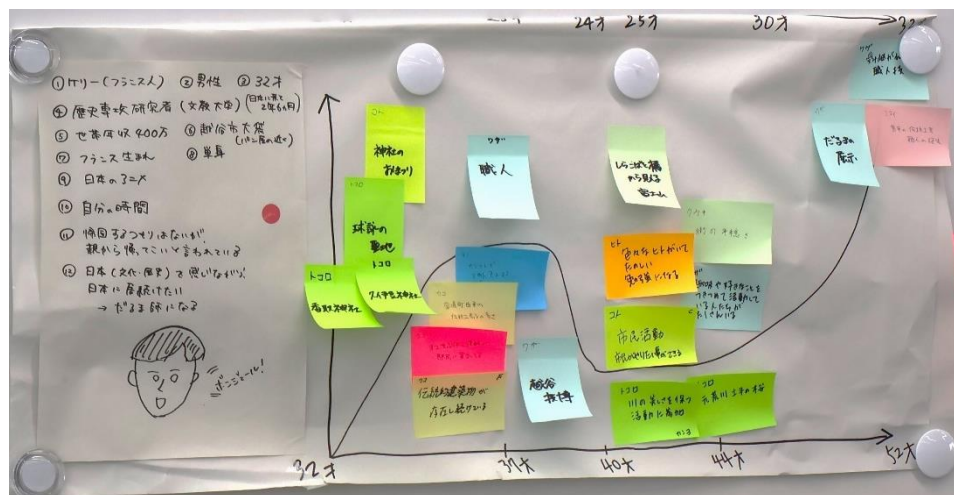
トコロ	香取神社 球詠の聖地 久伊豆神社 しらこばと橋から見える富士山 川の美しさを保つ活動に参加 元荒川土手の桜
コト	神社のお祭り 市民活動 市民がやりたいことができる
ワザ	職人・越谷技博 趣味や好きなことをつきつめて活動している人たちがたくさんいる
モノ	カラフルで大小いろいろあるだるま
カコ	宿場町由来の伝統工芸品の多さ 伝統的建築物が存在し続けている
シゴト	手工芸品
ヒト	いろいろな人がいて楽しい、勉強になる
クウキ	街の平穏さ

②ペルソナの設定

③ペルソナのライフストーリーの作成

④ペルソナへの「お手紙」の作成

30歳の時に日本のアニメが好きでフランスから市内へ移住してきた男性のケリーさん。移住後も日本の文化や歴史を感じながら日本に居続けたいと思っていますが、両親からは「帰ってきて欲しい」と言われています。



(左:ペルソナの設定とライフストーリーの作成、右:ペルソナへの「お手紙」)

⑤ブランドメッセージ

『グローバルだるまにフラッとあおう』

地理的・時間軸的な広がりと幸せ・伝統の象徴として、越谷市の伝統的手工芸品の“だるま”をモチーフに考案した。また、越谷は「平坦さ(越谷の地形・分け隔て無い人)」が魅力の1つでもある。挫折から立ち上がる原動力は「人とのつながり」であり、「友達」「仲間」と悩みなどを気軽に共有できるフラットな気分を表してみた。

<D グループ>

①本市の特徴

トコロ	レイクタウン、のんびりできるレイクタウン池 育児しやすいまち 県民福祉村
クウキ	住宅街が静か
シゴト	みんながつながりたいけど孤独感 みんなのひろばフェリーチェ NPO 法人子育てサポーターチャオ
モノ	ままマルシェ
コト	先輩ママ助けてくれた、子育て支援
ヒト	みんなのために動いてくれる人、保育者
ワザ	保育する技
ミライ	給食費無料 子どもを産みたくなる街

②ペルソナの設定

③ペルソナのライフストーリーの作成

④ペルソナへの「お手紙」の作成

カフェ巡りが好きな 38 歳女性の菊池菜々子さん。子どものことが大事で 1 番に考えており、1 人の時間があまりとれません。また、横浜から移住してきたこともあり、友人知人はあまりいない悩みを持っています。



1年前の菜々子へ!!

毎日子育てお疲れ様!初めてのことにワクワクで大変だよわ...子ども1人で育てるわけじゃないから1人で頑張ろうとしないでね。突然地域の人、地元へ戻ると、みんな子育てを助けてくれるよ!!日々は、とある場所で自分のキャリアも諦めず、子育てをする場所を確保できるといいわ。地元へ移住して、子育てを続けよう。子育てを続ける場所もあるからね。越谷には、NPO法人、子育てサポーターチャオやみんなのひろば、フェリーチェ等、子育てを応援したりサポートしてくれる場所もあるんだよ!!先輩ママとつながれたら、子育てを助けてくれる地域の人もたくさんある。毎日を楽しく子育て支援制度やサポートを利用することで、1人の時間が増えて、趣味のカフェ巡りしたり、友人とマールシェを目標したりすることもできるわね!!ママ業は子どもの幸せにも繋がるから、一歩踏み出してベストな選択をしてね。みんな応援してるよ!!

(左:ペルソナの設定とライフストーリーの作成、右:ペルソナへの「お手紙」)

⑤ブランドメッセージ

『つながる!まあるい越谷』

ペルソナが挫折を乗り越えるきっかけは「人とのつながり」だった。世代を超えた仲間が繋がっていくイメージを「縁・援・沿・円(en)」とさまざまな意味合いを込めて設定した。また、形や雰囲気などのイメージも含め「まあるい」という柔らかく親しみがある言葉に表現した。

<E グループ>

①本市の特徴

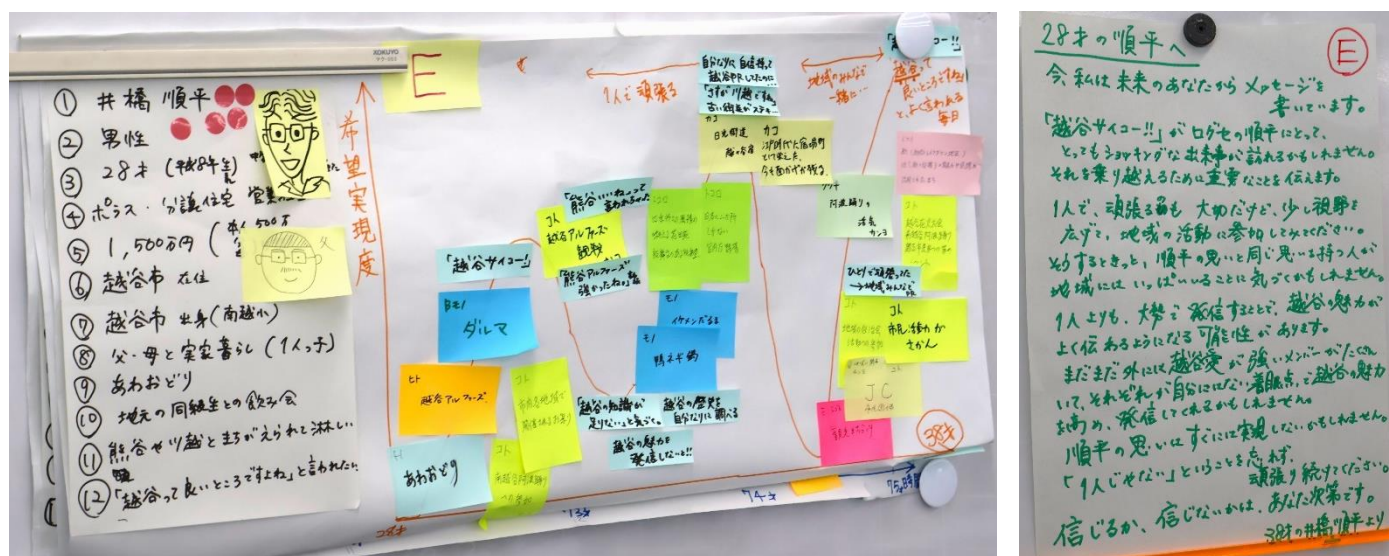
コト	あわおどり 市内各地で開催されるお祭り 越谷アルファーズ観戦 市民活動が盛ん 地域の自治会活動への参加 越谷花火大会、南越谷阿波踊り、越ヶ谷市民祭り
ヒト	越谷アルファーズ
モノ	だるま、イケメンだるま 鴨ネギ鍋
トコロ	四季折々の浮乗の映える花多延 日本に二か所しかない宮内庁鴨場
カコ	日光街道越ヶ谷宿 江戸時代に宿場町として避けた今も面影がある
クウキ	阿波踊りの活気
ミライ	新(越谷レイクタウン)旧(越ヶ谷宿)の魅力
シゴト	越谷青年会議所 観光まちづくり

②ペルソナの設定

③ペルソナのライフストーリーの作成

④ペルソナへの「お手紙」の作成

生まれも育ちも越谷市の 28 歳男性。漢字やニュアンスが似ている他市と間違えられてしまうことに淋しさを感じつつ、「越谷って良いところですよ」と言われたい野望を持ちます。



(左:ペルソナの設定とライフストーリーの作成、右:ペルソナへの「お手紙」)

⑤ブランドメッセージ

『愛のあるまち～KOSHIGAYA、助けあい、ふれあい、ひとりじゃない(Nai)～』

KOSHIGAYA の中心には“I(アイ)”がある。ペルソナは、越谷市の魅力を周囲にうまく伝えられていないことにフラストレーションを感じていた。地域に住む人それぞれが思う魅力を、それぞれで磨き上げ PR する過程で、まちを好きになり、越谷らしさを表せるようになるはずである。KOSHIGAYA の中心の“I(アイ)”は、“自分が真ん中”(主人公である)という「I」であり、“自分を真ん中に”(主人公にする)という「We」の意味も込めている。